

日本台湾学会報

第八号

目 次

論 説

- 台湾総督府の政策評価 ―米のサプライチェーンを中心に― 中嶋 航一 (1)
植民地台湾における青年団の変容 宮崎 聖子 (22)
―1930年代後半の諸制度との関連を中心に―
ジョンソン政権と台湾海峡兩岸 ―信頼性と自己抑制― 佐 橋 亮 (42)
「台湾語を媒介とした国語教育」再考 菅野 敦志 (67)
―戦後初期台湾における言語政策の一断面―
島田謹二『華麗島文学志』におけるエグゾティズムの役割 橋本 恭子 (88)
葉石濤作品に見られる日本文学の影響 ―太宰治を中心に― 戸田 一康 (108)

書 評

- 施正鋒 著『台湾原住民族政治與政策』 石 垣 直 (123)

講 演

- 国史館と台湾史研究 張 炎 憲 (129)

石田浩理事長追悼

- 石田浩先生を偲ぶ 若林 正文 (136)
石田浩先生のお心を想い、悲しみは消えない 下村作次郎 (138)

2006年5月

日 本 台 湾 学 会